

小児科だより 番外編

創刊から50号を振り返って

2020.11.2 発行

こんにちは。だんだんと冬の気配を感じるようになってまいりました。2週間ほど前から、急に寒くなった影響もあり、風邪症状での受診が増えてきました。風邪をひいているときは、十分な休養と栄養を取ることが何よりも重要となりますので、無理をせずに寒い冬を乗り切りましょう。

さて、小児科だよりも数えると、おかげ様で先月ついに50号まで到達することが出来ました。

今回は、番外編として、これまで書いた内容を少し振り返ってみたいと思います。

まずは、ワクチンに関して、vol.3『うちの子はインフルエンザワクチンうったほうが良いですか?』、vol.16『卵アレルギーとインフルエンザワクチン』など、今まさに外来で話題に上がる内容や、vol.48とvol.49に、思春期を迎える学童期のお子さんをお持ちの親御さんに注目されている『子宮頸がんワクチン』について、2回に分けて解説しています。他には、『BCGと小児結核』、『百日咳と3種混合ワクチン』、『B型肝炎ワクチン定期接種化へ』に関して、いずれも重要な内容と考えて取り上げています。

外来で相談されることの多い、発達障害に関しても、vol.27とvol.39の2回に分けた解説と、さらにvol.33『場面緘黙』、vol.50『頭在化しにくい発達障害について』で、より詳細に触れています。

育児中の親御さんが持ちやすい悩みとして、『青アザ』、『でべそ』、『胸のふくらみ』、『おねしょ』、『便秘』、『離乳食とベビーフード』、『成長痛』、『食物アレルギーと乳児湿疹』などに関しても、それぞれ1回分として取り上げております。

『RSウイルスのおはなし』、『手足口病とヘルパンギーナ』、『口腔アレルギー症候群』、『熱性けいれん』、『子どもの熱中症』などよくみる疾患の解説に加えて、当院小児科で独自に行っている取り組みとして、『小児在宅医療』、『訪問診療』、『レスパイト』などについて解説しているものや、毎年1月に『一年の計は元旦にあり』として、すでにパート4までシリーズ化している、赤ちゃんの誕生と蘇生に関するお話もご紹介します。

今年に入り、今も世間を騒がせている『新型コロナウイルス感染症』に関しても、小児医療の視点から3回に渡って解説させていただきました。今後も、身近な話題を、出来るだけわかりやすくお話し出来るよう、努力してまいります。そのためにも、皆様のご意見や興味のある（取り上げて欲しい）話題などもお知らせいただけますと幸いです。

